

平成29年10月27日
近畿総合通信局

頻発する“水災害”への対応と情報伝達をテーマにセミナーを開催 －「防災情報通信セミナー2017 秋冬」の開催－

近畿総合通信局（局長：安藤 英作（あんど う えいさく））は、近畿地方非常通信協議会及び近畿情報通信協議会との共催で、最新の情報通信技術による防災・減災対策等を紹介する「防災情報通信セミナー2017 秋冬」を開催します。

本セミナーでは、近年頻発する集中豪雨、台風による河川氾濫や高潮、想定されている津波浸水等々の“水災害”の危険性を正しく理解し、災害時の情報伝達を考える講演会及び展示会を実施します。

1 開催日時及び会場

日時：平成29年11月28日（火）13:00～17:00

講演会：13:30～16:00／展示会：13:00～17:00

会場：KKRホテル大阪 3階 銀河（講演会）曙（展示会）
（大阪府中央区馬場町2-24）

2 主催

近畿総合通信局、近畿地方非常通信協議会、近畿情報通信協議会

3 内容

(1) 講演会

【講演1】

演題：頻発する“水災害”のメカニズムとその対策

講師：関西大学環境都市工学部 教授 石垣 泰輔 氏

概要：最近、雨水氾濫（内水氾濫）、河川の氾濫（外水氾濫）、津波や高潮による“水災害”が頻発しています。本講演では、何が起きているのか？＜実態＞、何が起きるのか？＜予測＞、どのように対応するのか＜対策＞について概説します。

【講演2】

演題：淀川三大洪水とこれからの備え

講師：近畿地方整備局 淀川河川事務所 副所長 白波瀬 卓哉 氏

概要：淀川の河川整備において計画改定のきっかけとなった三大洪水（明治18年、大正6年、昭和28年）による被害と、それに対して行った治水対策の経緯を振り返り、現在進めている「水防災意識社会再構築」に関する取り組みを紹介します。

【講演3】

演題：SNS上の災害関連情報の要約・分析システムの活用

講師：国立研究開発法人情報通信研究機構 ユニバーサルコミュニケーション研究所
データ駆動知能システム研究センター 上席研究員 大竹 清敬 氏

概要：災害時にはSNS上に有用な情報からデマまで、様々な情報が膨大に流れま
す。正確な状況を把握するために、これらを整理し分かりやすく提供するシ
ステムと、求める情報をピンポイントにかつ網羅的に得ることが出来るシス
テムを紹介します。

(2) 展示会

開催テーマに沿った出展を中心に、発災時に有効な最新の防災情報伝
達システムや各種防災機器等を展示し、防災・減災対策の整備の参考と
なる情報を提供します。

4 参加費

無料

5 参加申込方法

講演会への参加を希望される方は、下記の要領により、電子メール又は
FAXでお申込みください。参加受付は、定員（200名）に達した時点で締
め切らせて頂きます。

なお、展示会の参加申込みは不要です。

(1) 電子メール

- ・ 件名：防災情報通信セミナー講演会申込み
- ・ 本文：参加者の企業団体名、部署、氏名、連絡先電話番号
- ・ 申込先アドレス：d-seminar/atmark/soumu.go.jp
(迷惑メール防止のため、「@」を「/atmark/」と表示しています。
メールを送る際は、「/atmark/」を「@」に置き換えて送信してください。)

(2) FAX

- ・ 別紙のチラシ裏面の参加申込書に必要事項を記入して、下記FAX
番号へ送信してください。送信票は不要です。
- ・ FAX番号：06-6942-1849

※記載頂いた個人情報、今回のセミナーへの参加に関する手続きのみに使用し、第三者
に開示・提供・預託することは、ありません。

【近畿地方非常通信協議会】とは

近畿管内における非常時の通信の確保と円滑な運用を図ることを目的として、
昭和37年に設立され、国の機関、府県、電気通信事業者、放送事業者など122
団体（平成29年10月1日現在）で構成されています。

【近畿情報通信協議会】とは

情報通信の健全な普及発展とその利用による国民生活の向上に寄与するとともに、会員相互間の緊密な連絡と親睦を図ることを目的として、平成15年に発足し、電気通信事業者、放送事業者及び地方自治体など196団体（平成29年10月1日現在）で構成されています。

連絡先：防災情報通信セミナー事務局
近畿総合通信局 防災対策推進室
（担当：小田）
電話：06-6942-8504

防災情報通信セミナー 2017秋冬

— 頻発する“水災害”の対応と情報伝達 —

水災害とは、近年頻発する集中豪雨、台風による河川氾濫や高潮、想定されている津波浸水等々を指します。

場所 平成29年 11月28日(火) 13:00開場

日時 KKRホテル大阪 3階 (大阪市中央区馬場町2-24)

主催 総務省近畿総合通信局、近畿地方非常通信協議会、近畿情報通信協議会

入場無料



十三、三国付近



高槻町本町筋の濁水

講演1 頻発する“水災害”のメカニズムとその対策

講師: 関西大学環境都市工学部 教授 石垣 泰裕 氏

最近、雨水氾濫(内水氾濫)、河川の氾濫(外水氾濫)、津波や高潮による“水災害”が頻発しています。本講演では、何が起きているのか? <実態>、何が起きるのか? <予測>、どのように対応するのか? <対策>について概説します。

講演2 淀川三大洪水とこれからの備え

講師: 近畿地方整備局 淀川河川事務所 副所長 白波瀬 卓哉 氏

淀川の河川整備において計画改定のきっかけとなった三大洪水(明治18年、大正6年、昭和28年)による被害と、それに対して行った治水対策の経緯を振り返り、現在進めている「水防災意識社会再構築」に関する取り組みを紹介します。

講演3 SNS上の災害関連情報の要約・分析システムの活用

講師: 国立研究開発法人情報通信研究機構 ユニバーサルコミュニケーション研究所
データ駆動知能システム研究センター 上席研究員 大竹 清敬 氏

災害時にはSNS上に有用な情報からデマまで、様々な情報が膨大に流れます。正確な状況を把握するために、これらを整理し分かりやすく提供するシステムと、求める情報をピンポイントにかつ網羅的に得ることが出来るシステムを紹介します。

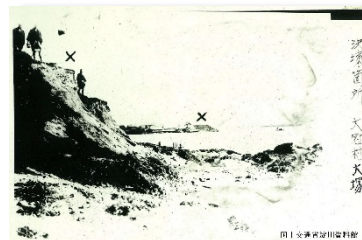


牧野村(現枚方市)の惨状

同時開催

展示会

開催テーマに沿った展示を中心に、発災時に有効な防災情報伝達システムや各種防災機器から、最新の機器10数点を展示し、防災・減災対策の整備の参考となる情報を提供いたします。



決壊箇所の淀川右岸大冠村大塚

※写真は、1917年の大正大洪水の記録写真です。所蔵元の「国土交通省 淀川資料館」から提供を頂き使用しています。

お問い合わせ : 総務省 近畿総合通信局 防災対策推進室 (06) 6942 - 8504

防災情報通信セミナー2017秋冬プログラム

開場 13:00

予定時間		講演会	展示会
13:00-13:30	30分		13:00～17:00 開催時間は、都合により変更する場合があります。
13:30-13:40	10分	開会、主催者挨拶	
13:40-14:40	60分	講演1「頻発する“水災害”のメカニズムとその対策」 関西大学環境都市工学部 教授 石垣 泰裕 氏	
14:40-14:50	10分	休憩	
14:50-15:20	30分	講演2「淀川三大洪水とこれからの備え」 近畿地方整備局 淀川河川事務所 副所長 白波瀬 卓哉 氏	
15:20-15:50	30分	講演3「SNS上の災害関連情報の要約・分析システムの活用」 国立研究開発法人情報通信研究機構ユニバーサルコミュニケーション研究所 データ駆動知能システム研究センター 上席研究員 大竹 清敬 氏	
15:50-16:00	10分	質疑応答、閉会	
16:00-17:00	60分		

※予定時間は、多少前後する場合がありますので、あらかじめご注意ください。

お申込み方法

- 講演会の参加を希望される方は、FAXまたは電子メールでお申込みください。
- 展示会は、参加申込み不要で、ご自由に見学できます。
- FAXでの申込みは、下記の参加申込書に必要事項を記入の上、送信してください。送信票は不要です。
- 電子メールでの申込みは、件名を「防災情報通信セミナー講演会申込み」とし、①所属企業・団体名、②部署、③氏名、④連絡先電話番号を記載して送信してください。なお、必要事項を記載した参加申込書を添付して、お申込み頂いても結構です。
- 受付完了の連絡は、申込者にFAX又は電子メールで行います。
- 申込みされた個人情報、本セミナーの開催に関わる以外の目的で使用いたしません。

■ 申込先 防災情報通信セミナー事務局（近畿総合通信局防災対策推進室）

■ FAX 06-6942-1849 ■ E-mail d-seminar@soumu.go.jp

参加申込書

所属企業・団体名 (個人の場合は記載不要)			
申 込 者			
部署名	氏名	TEL	FAX
講演会参加希望者（申込者と同一の場合は省略可）			
部 署 名	氏 名	部 署 名	氏 名
通信欄			

会場のご案内

KKRホテル大阪 3階 銀河(講演会)、曙(展示会)

大阪市中央区馬場町2-24

JR環状線「森ノ宮駅」下車 北出口より西へ徒歩10分

地下鉄中央線・長堀鶴見緑地線「森ノ宮駅」下車 7番B出口より西へ徒歩10分

地下鉄中央線・谷町線「谷町四丁目駅」下車 9番出口より東へ徒歩10分

※公共交通機関をご利用ください。